

2020年7月31日

In Memoriam

中雄大輔氏の訃報に接して

大変悲しいお知らせとなりますが、国際的なアンチ・マネー・ローンダリング（AML）コミュニティの支柱的存在の一人であった中雄大輔氏をご逝去されました。2017年に「ACAMS AI Gillum Volunteer of the Year Award」を受賞するなど、中雄氏の功績は非常に大きく、彼の当該分野における姿勢は、「AML コミュニティ全体が活発に仕事をすればするほど、私たちの社会はより良いものになるでしょう。私たちの生活をより安全で幸せにするのに役立つものにこそ、私は自分の時間と労力を投資する価値を見出します。」という彼自身の言葉に最もよく表れています。

中雄氏は1987年に東京銀行に入社し、東京、ロンドン、パリでの勤務後、2009年から三菱UFJ銀行においてグローバル金融犯罪対策部のチーフアドバイザーに就いておられました。中雄氏はAMLコンプライアンス・金融犯罪対策の専門家として、様々なAML関連の研修などに講師として参加し、指導的な役割を果たしました。出版物においても、下記をはじめとした様々な刊行物に貢献されています。

『銀行業務における資金洗浄対策と経済制裁対応』ビジネス教育出版社、
Financial Regulation（フィナンシャル・レギュレーション）Vol.5 2015 SUMMER

『効果的なリスクベース・アプローチの実践』ACAMS、ACAMS TODAY 2016年
3月～5月号

『包括的共同作業計画「履行の日」以降の対イラン取引の注意点』国際商事
法務研究所、国際商事法務 2016年 Vol.44 No.5

『マネー・ローンダリング規制の新展開』（共著）きんざい、2016年

また中雄氏は、ACAMS公認AMLスペシャリストであり、2010年から毎年開催されているACAMS東京コンファレンスへの登壇のみならず、ACAMS東京チャプター設立のサポート、さらにはCAMS認定試験のテキスト（第六版）や試験問題の日本語化を行う委員の一人としても、日本におけるACAMSの発展に重要な役目を果たして下さいました。さらには「三つの防衛線」と「経営陣の関与」の重要性とともに、AMLと金融犯罪防止の重要性のさらなる認知と教育に一貫して力を注がれ、その結果として、ACAMSがミッションとして掲げる「国内外におけるAMLコミュニティの構築」に多大なるサポートを提供して下さいました。このことは、今日の日本国内におけるACAMS会員の増加に多大なる影響を与えています。

ACAMS は、中雄氏が 30 年に及ぶキャリアを通じて銀行業界に惜しみなく注がれてきたエネルギーとコミットメントに加え、コンプライアンス文化の発展の必要性を提唱するための情熱と、継続的なリーダーシップを発揮されたことが、銀行業界への最大の貢献の一つであったと考えています。彼のリーダーシップ、影響力、専門性、そして人間性は、日本および世界中においても大きな損失となります。ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。